

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービスゆにこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		重心型の放課後等デイサービスを併設することで、昨年度よりも安全に配慮した支援を行うことが出来ている	
	2	職員の配置数は適切である	○		多種多様な専門性を持つ職員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		改装工事済	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎年、職員が個々でGPCDAシートを作成し、活用している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年のアンケート結果を元に、職員間での共有と改善を行っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	△		外部への打診をおこなっているが難しく、法人内の他事業所間で行っている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修だけでなく、法人内でも研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを作成している	重心型の放課後等デイサービスを併設しているため、アセスメントシートを2種類にしようとして検討中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月、全体での会議を行い、その後、各活動に分かれての会議を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や行事だけでなく、その年の利用者さんに合わせた活動の検討を行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		こまめにニーズや環境の見直しを行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		全体での送迎確認を行った後、重心型と別れての事前打ち合わせを行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の振り返りを記録し、不在者にも共有出来るようにしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援計画に沿った内容だけでなく、次期計画にあげたい内容や特記事項も記録している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個々に合わせて保護者と相談しながら進めている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本は児童発達支援管理責任者が出席している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校・保護者と連携し随時行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		メールなども活用して連絡を取っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者と相談し、可能であれば事前に就学前の園訪問を行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		基本は相談員の方への情報提供を行い、引継ぎを行っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		必要に応じて検討していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の中の関係する複数の部会に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		面談時だけでなく、送迎時などにも共有するようにしている	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時・面談時だけでなく、毎月の書面配布時にも必要に応じて丁寧にお伝えしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や連絡帳だけでなく電話でもお受けしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	必要とされている方とそうでない方双方に寄り添える内容検討が必要	法人内で、方法を検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		可能な限りその日や数日中に解決出来るよう対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○		配布物は入れ間違えの内容ダブルチェックを行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		こちらから地域のイベントに作品を出させてもらうなどの方法を取っている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	△		マニュアル周知が出来ていない部分があった	HPなどを活用し、周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練の際は詳細まで決め過ぎずに支援者一人一人が必要なことを考えられるようにしている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修及びセルフチェックシートを定期的に行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	△		医師の指示ではなく保護者の希望による対応も行っている	必要に応じて医師の判断を扇げるよう保護者にお伝えしていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		支援前ミーティングでも共有している	